



今日のキーワード 今年の『GW』は10連休で大活況

大手旅行代理店のJTBは毎年ゴールデンウィーク（『GW』）を前に、旅行動向調査の結果を発表しています。調査は4月25日～5月5日の間に1泊以上の旅行に出かける人を対象に実施され、人気の旅行先や支出動向などが盛り込まれています。51回目の調査となる今年の『GW』は、10連休の影響で国内旅行、海外旅行ともに好調で、期間内に複数回旅行に行く人は51.2%と半数以上にのぼる見込みです。

ポイント1

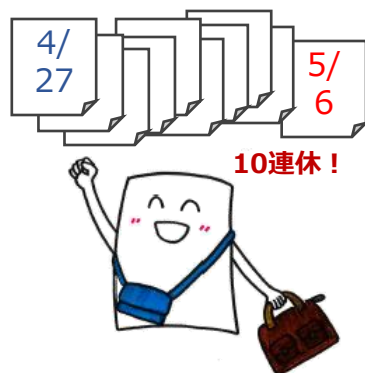
今年は国内・海外ともに旅行者数が過去最高を更新の見込み 新天皇の即位に伴う休日により3割以上の人々が10連休となる模様

- JTBが4月4日に公表した「2019年ゴールデンウィークの旅行動向」によると、『GW』の総旅行人数は前年比+1.2%の2,467万人と増加する見込みです。内訳を見ると、国内旅行は同+1.1%の2,401万人、海外旅行は同+6.9%の66.2万人と、ともに過去最高を更新する見込みです。総旅行消費額は同+3.7%の1兆610億円と、2年連続で1兆円超となる見込みです。また、平均費用は、国内旅行が同+1.7%の36,800円、海外旅行が同+1.5%の268,000円となっています。
- 今年の『GW』は、現天皇の退位と新天皇の即位があるため、4月27日～5月6日まで、カレンダー上は『GW』史上初の10連休となります。同調査によると、「自分と家族」若しくは「自分だけ」が10連休となる人は合計31.5%となっており、このため旅行への意欲は昨年よりも高くなっています。

ポイント2

10連休により、旅行者の半数以上は複数回旅行へ 改元にちなんで神社参拝や皇居などへ出かける人も

- 今年ならではの調査項目で、「昨年旅行に行かなかったが今年は10連休なので旅行に行く」と回答した人は8.3%いました。また複数回旅行に行く人は51.2%と半数以上にのぼります。長い休暇をとれる人が多く、旅行需要の押し上げにつながっています。
- 「改元にちなんで旅行やお出かけをする」と回答した人のなかでは、「神社やお寺にお参りする」、「改元記念ツアーに参加する」、「皇居へ行く」などの予定が多くなっています。



今後の展開

新幹線なども例年を上回る好調、各地で賑わいが期待される

- このほか、今年の『GW』は、宿泊予約サイトやJR各社の指定席予約状況が例年を大幅に上回る好調となっています。10連休についてはサービス業を中心に普段以上に人手不足が懸念され、各業界で対応に追われる側面もありますが、改元のお祝いムードの中、日本各地で様々なイベントや賑わいが見られそうです。

※個別銘柄に言及していますが、当該銘柄を推奨するものではありません。

* 三井住友アセットマネジメントと大和住銀投信投資顧問は4月1日に合併し、三井住友DSアセットマネジメントになりました。

ここも チェック!

2019年4月15日 『10連休』の株式市場への影響は？

2019年3月29日 小売、外食などで『営業時間の見直し』が相次ぐ

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。